

励まし合って 創刊3年目

統合失調症闘病中 周南の天地さんが編集長

統合失調症からの回復を目指す周南市在住の元新聞記者、天地盛行さん(47)が編集長となり、同じ症状で苦しむ仲間たちと発行を続けるインターネット配信のミニコミ誌「みんつど」が創刊から3年目を迎えた。天地さんを中心に当事者たちが寄稿した体験談やイラスト、写真も取り入れ、みんなを元気づける場となっている。(中井幹夫)

タイトルのみんつどは「心が疲れたら、みんなが集おう」という趣旨で名付けた。2020年1月に創刊した第1号はA4判の4ページの紙で10部を発行し、知り合いに配

った。2号目からはネット配信し、不定期ながら、この2年間で24号まで発行し、ちょうど1回のペースになった。今年1月には25号を出した。



「みんつど」の編集長となる
天地盛行さん

ミニコミ誌「みんつど」悩み相談や体験談

は北海道から鹿児島まで全国に約100人いるという「わが子が精神疾患にかかったらどうしたらよいか」といった意見も寄せられる。

天地さんは、くじけそうになり、発行を中止しようと思っただこともある。「やめないで」という読者のメールなどに励まされ、思い直した。県立大名管教授の安漢遊地さん(70)や、心の病がある人たちを支援する「ひだまりの会」(周南市)の松田茂代表(83)たちにも支えられた。

今後は、年間4回の発行に減らすものの、8月に拡充する予定だ。天地さんは「心に風邪をひいた人、ひきまうな人はせひ読んで、元氣になっしてほしい」と呼び掛ける。

みんつどは、安漢さんのブログ内で閲覧できる。アドレスは<http://ankel.jp/yui/>

この2年間に発行した1、24号全てを収録した記事集冊子も300部発行し希望者に配っている。問い合わせは松田さん。メールアドレスはse0808vo@yahoo.co.jp